

第40号



さくら

題字 足立区長 近藤 やよい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会 長 宮 崎 十 三
編 集 広 報 委 員 会
発行日 2016年3月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870

目 次

東京都民生委員・児童委員大会	2
学 校 訪 問 活 動	3
視 察 研 修 報 告	4 5
町会自治会「地域を訪ねて」	6
老 後 を 考 え る	7
ぶらり足立・舎人公園	8
編 集 後 記	



平野小 5年 新安結友 作



足立区長 近藤やよい

創刊40号を祝して

足立区民生・児童委員協議会だより「さくら」の創刊40号のご発行、誠におめでとうございます。足立区では、区民の皆様方が区政に少しでも関心を寄せていただけるよう、広報紙の充実には特に力を入れてきました。同様に「さくら」発行は、民生・児童委員活動に対して一人でも多くの理解者や協力者を得るためにも、大変重要な意味合いを持ちます。内容を拝見するたびに、わかりやすくかつ興味を引く紙面をとの熱い思いが伝わり、敬意を表します。

既にご承知の通り、平成27年度を「子どもの貧困対策元年」と位置付け、庁内横断的な80余りの事業を「未来につなぐあだちプロジェクト」として取りまと

め、28年度から本格実施してまいります。

治安の向上・学力の定着・健康寿命の延伸を区のボトルネック的課題と位置付け、真正面から取り組んでまいりましたが、この3つの課題の根本に横たわり、負のスパイラルの元凶となっているのが、世代を超えて連鎖する「貧困」の問題です。ここにメスを入れない限り、3つの課題の抜本的な克服は困難と考えています。

たとえ時間はかかっても、足立の未来を担う子どもたちが、心身とも真に自立した人生を自ら切り開いていける力を育めるよう、全力を傾けてまいります。そのためには、民生・児童委員の皆様方との従来にも増した力強いパートナーシップが不可欠です。今後とも是非ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



第 69 回 東京都民生委員・児童委員大会



都内の民生・児童委員が一堂に会し、活動の使命を再確認する場である都大会が、11月18日文京シビックホールにて開催されました。1,250名の民生・児童委員が、多年にわたる顕著な功績に対し都知事より表彰を受けました。その後、行政職員・関係機関・団体職員等への感謝状の授与、大会宣言の採択と続きました。

第2部は、杉並区民生・児童委員コーラス部「ふれあいコーラス」の素晴らしい歌声で始まりました。

竹内昌彦氏（岡山県立岡山盲学校講師）の記念講演は、圧巻でした。

8歳で全盲となり、いじめや差別を受けながらも、障がいを感じない母の影響を受け、また素晴らしい教師と出会い、自らも教師の道を歩みました。長男も障がいを持ち、わずか7年の一生でした。それでも、人生から多くのことを得たと氏は語ります。

障がいをその身に引き受けてしまった数パーセントの人々、そうはならなかった大半の人々、その運命の差を考えさせられる深く力強い、その上ユーモアまで交えた心に残るお話でした。今、自分はどうかあるべきなのかを考えさせられました。

（9地区 秋本雅信 記）

平成 27 年度 民生・児童委員各種表彰受賞者名簿 敬称略

〔 〕内は基準日

厚生労働大臣表彰

（1名）在職20年以上で、都の推薦による
〔平成27年11月20日〕

齋藤武次

東京都知事表彰

一般功労

（83名）在職10年以上〔平成27年10月1日〕

大沢榮一	井口保雄	中根 昇	齋藤祐子	高木真由美	村田晴子	中村敏夫	宮崎保子
高橋志保子	横山堂侑	大室 博	関澤和恵	堀口幸子	宇治川光子	鈴木美智子	薮下奈穂美
平林 治	正木美津子	形山嘉宏	鶴池孝子	染谷和恵	星野輝明	吉川利子	高田八重子
椎名洋子	大西仁子	金子弘士	田中美代子	磯崎 潔	鈴木紀代美	岩木和子	大熊園江
伊藤友子	溝呂木節江	藤波光昌	渡邊敏章	加藤恵子	藤沼真由美	羽曾部光子	葉本喜信
根木島大雄	吉澤はる江	長尾幸江	松浦美佐江	森本雅子	荒堀武臣	清水敬子	金子万利子
秋本雅信	近藤真理子	渡辺章子	小山ケイ子	小宮莊一郎	林 昇	江川せつ子	清水孝祐
内田恵子	矢島兼孝	横田夏夫	矢萩健次	松本尚正	大島愛子	柴田祐子	小口よし子
小川玲子	増田 優	坂田 誠	須賀稔夫	桑原美恵子	関根恵子	戸張光子	小島千恵子
宮澤博子	浅古有文	堀 公子	北村信也	野口義雄	小林正枝	森澤貞子	中島昌子
鈴木由美子	須賀はる子	高松明彦					



▲都大会式典の様子

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

永年勤続民生・児童委員表彰

（5名）在職17年以上
〔平成26年11月30日〕

関根純子 小林勝子 川島恵美子 坂野正章 栗原和子

全国社会福祉協議会会長表彰

（1名）在職15年以上で、都民連の推薦による〔平成27年4月1日〕

野辺陽子

東京都社会福祉協議会会長表彰

（1名）在職9年以上10年未満で、都民連の推薦による〔平成27年10月1日〕

藤波 孝

足立区表彰

社会福祉功労

（79名）在職10年以上〔平成27年10月1日〕

大沢榮一	井口保雄	齋藤祐子	高木真由美	村田晴子	中村敏夫	宮崎保子	高橋志保子
横山堂侑	大室 博	関澤和恵	堀口幸子	宇治川光子	鈴木美智子	薮下奈穂美	平林 治
正木美津子	形山嘉宏	鶴池孝子	染谷和恵	星野輝明	吉川利子	高田八重子	椎名洋子
大西仁子	金子弘士	田中美代子	磯崎 潔	鈴木紀代美	岩木和子	大熊園江	伊藤友子
溝呂木節江	藤波光昌	渡邊敏章	加藤恵子	藤沼真由美	羽曾部光子	根木島大雄	吉澤はる江
長尾幸江	松浦美佐江	森本雅子	荒堀武臣	清水敬子	金子万利子	秋本雅信	近藤真理子
渡辺章子	小山ケイ子	小宮莊一郎	林 昇	江川せつ子	清水孝祐	内田恵子	矢島兼孝
矢萩健次	松本尚正	大島愛子	柴田祐子	小口よし子	小川玲子	増田 優	坂田 誠
須賀稔夫	桑原美恵子	関根恵子	戸張光子	小島千恵子	宮澤博子	浅古有文	堀 公子
北村信也	野口義雄	小林正枝	森澤貞子	鈴木由美子	須賀はる子	高松明彦	



Aフェスタに参加して

子ども広場は笑顔でいっぱい



うすぐ暮りの空の下で、今年度も足立まつり・Aフェスタ（平成27年10月10～11日）が開催されました。

子ども広場では開会式を前に、超人気のフワフワトランポリンにはまだ空気が入っておらず、どうしたものかと思っているうちにガチャピンの体がニョキニョキと現れはじめ、いよいよAフェスタの始まりです。担当のスタッフ達にもスイッチが入りました。

毎年子ども広場は、少年団体連合協議会によるチャップンの冒険のスタンプポイント、フワフワトランポリン、ストラックアウト、くじ引き、子ども会の皆さんの模擬店、シニアクラブによる駄菓子屋さん、ベーゴマやケン玉のワークショップがくり広げられています。今年はジュニアクラブの応援もあり、なかなかの盛況です。

こうして大勢の大人やジュニアの活動によって、足立の子ども達の笑顔が広がります。そこに生まれるふ



▲大人気のフワフワトランポリン

れ合いにより、明るい明日が築かれていくのだと思います。また来年度もその元気な笑顔を楽しみにたくさんの人々が虹の広場に集うことを期待しています。

（民生・児童委員協議会 第五合同会長・

足立区少年団体連合協議会会長 野辺陽子 記）

子どもの安全対策 佐野地区の取り組み

《学校訪問活動について》

私が所属する第二合同佐野地区は、足立区の東部の環状七号線から北の地域が受け持ちの範囲となっています。

時代と共に大きな工場が移転し、跡地にマンモス団地、田畑にも戸建住宅やマンションが建設されました。その結果子どもの人口も急激に増え、4校が新たに開設されました。現在地域の中には、中学校2校、小学校4校があります。その学校の様子を知らなければと始まったのが、地域の民生・児童委員による学校訪問です。

毎年、新年度に学校がひと段落する6～7月頃、地区会長と学校を担当する委員とで訪問しています。校長・副校長・生活指導担当の先生方から、学校の様子

や子どもたちの状況について説明を受け、内容の濃い情報交換をしています。以前は学校側も警戒して、不都合な情報は出してくれず、また子どもを担当する主任児童委員の認知度が低く、対応に苦慮したこともあったと先輩委員から聞きましたが、現在は学校との関係も良好です。

最近では、小中学校に加え、区立子ども園と保育園3園も加わり、佐野地区民生・児童委員の春の一大イベントになっています。子どもたちの健やかな育成のために、子どもの立場に立って見守っていくという考えのもと、これからも学校・家庭・地域のご理解をいただきながら、この活動を続けていきたいと考えています。

（佐野地区 主任児童委員 坂井成一 記）

今年もやります！ PR週間 5月9日～5月15日



平成27年度各合同視察研修報告

10月17日 第一合同



▲ハンセン病資料館

国立療養所多摩全生園視察。重たい心のような雨の中、国の政策により人権を奪われたハンセン病患者の歴史を研修。午後から雨も上がり、川越祭りと蔵の街並みを見学。

(4地区 江川明美 記)

11月1日 第二合同



▲避難体験の様子

快晴の日曜日、江東区有明の東京臨海広域防災公園を視察。ここは、都県単位で対応不可能な甚大な災害に備える防災活動の拠点となる。午後からは、横浜の70階でランチ、中華街を散策。

(18地区 鶴田晴久 記)

11月28日 第三合同

「東京臨海広域防災公園」

体験施設をタブレットによるクイズに挑戦しながら見学。いざ災害が発生した場合、要支援者プランの避難支援をどのようにしたら良いか？ 私は宿題をもらって帰りました。



▲避難グッズの展示

(10地区 渡邊進 記)

10月20日 第四合同

児童養護施設「岩倉学園」

富士山の麓、緑に囲まれた園内に、高校3年生までの30名が入所し、家庭的な雰囲気の中で生活を共にしています。入所理由の5割が親の虐待・酷使であることを知り、とても複雑な思いがしました。



▲岩倉学園施設内

(8地区 森葉子 記)

シリーズ 災害に備える 1

災害は多種多様、様々な形で我々の身に降りかかってきます。なかでも、今回は地震から身を守るということを考えたいと思います。

大地震は予告もなく起こります。テレビや新聞では、ある地域に近い将来高い確率で発生するなどと報道されていましたが、決定的なことは誰にも分かりません。だからこそ、みんなに準備が必要なのです。心構えを怠ることが、被害を大きくします。

地震には2種類あります。内陸地震は揺れが激しく、建物の倒壊による被害が多く出ます（阪神・淡路大震災）。海底地震は揺れは少し小さくなりますが、津波被害が深刻です（東日本大震災）。

地震から身を守るためには、普段からの身の回りの備え、たとえば寝室に倒れる物、落ちる物を置かない

ことが大事です。寝ている時は無防備になることを考えて、我が家でもこのことは守っています。外出しているときも、非常口の位置に注意を払うなど、一瞬の判断が生死を分けることを心しておくことが必要だと思います。

私たち民生・児童委員も、足立防災マップや警視庁警備部災害対策課発行「地震のときはこうしよう」といった参考資料に目を通したり、地域のみなさんにそれを勧めることもいいのではないかと思います。また、担当区域の要支援者安否確認の際には、落ちてくる瓦や倒壊の危険のある建物などに気を付けて下さい。近頃は耐震強化の建物も多くなりましたが、人的被害の起こらないことを願ってやみません。

(東綾瀬地区 山崎秀夫 記)



平成27年度各合同視察研修報告

9月27日 第五合同



▲社会福祉法人すかい

日光市にある障害者支援施設「皇海荘^{すかいそう}」を視察。栽培された花・野菜・パン等が町の店やイベントで幅広く活用される喜びが伝わってきました。金谷ホテルで昼食後、「金谷ホテル記念館」見学。

(鹿浜地区 久保幸子 記)

10月22日 第六合同



▲リフト移乗体験

さいたま市にある福祉用具展示場「介護すまいる館」で、福祉用具の利用方法を見て理解を深め、商品 1000 点という数に驚き。氷川神社、武蔵陵墓参拝、昼食に満足して、道の駅で買い物、有意義な研修でした。実行委員の皆様有難うございました。

(湧江地区 戸張光子 記)

9月26日 第七合同



▲盲導犬デモンストレーション

富士宮市にある盲導犬訓練施設「富士ハーネス」へ行ってきました。盲導犬はハーネスを着けると「仕事」、飼い主の指示と安全確認をしながら楽しんで仕事をするように訓練を受けていることと、盲導犬が傍にいることで安心して外に出られることを知りました。

(19 地区 高橋和枝 記)

こんなことがありました

あるお宅に、敬老の日のお祝い品を届けに伺ったときのことです。

玄関口に出てきた娘さんが、奥を振り返って「お母さん、敬老の日のお祝い持って来てくださったのよ。ハガキ見て楽しみにしてたじゃない」とおっしゃいました。

役所から、あらかじめ民生・児童委員の訪問を知らせるハガキが届けられることで、私たちはとても助かっています。が、そうした便宜を図る以上の意味があることを知りました。ハガキを手に、楽しみに待っていてくださる方がいると思うと、この配達嬉しい役目になりました。

(9 地区 秋本雅信 記)

「こんなことがありました」という、民生・児童委員活動で感じた嬉しかったこと、残念だったこと、疑問に思うことがありましたら、200 字程度で投稿をお願いします。

(詳細は各地区の広報委員にご相談ください)



平野小
二年 松本知笑 作



子育て応援団 シリーズ「子どもたちは いま」3



子どもたちの貧困対策 in 足立

平成 27 年 7 月 16 日、庁舎ホールにて「子どもの貧困対策とスクールソーシャルワーカーの役割」の講演がありました。その基調講演として近藤やよい区長の講演「足立区の子どもの貧困対策について」を聴講しました。

＜なぜ今、足立区で子どもの貧困対策が必要なのか＞

- 足立区の 18 歳未満の人口がほぼ横ばいで推移する中、生活保護受給者は増加している。平成 12 年は 45 人に 1 人、平成 26 年は 31 人に 1 人が受給となっている。
- 就学援助認定率は、足立区全体で（35.8％）全国平均（15.6％）の約 2.4 倍である。
- 毎年 300 人以上が区内の都立高校を中途退学している。
- 区立小中学校の不登校児童生徒の数は、10 年間で約 2 倍になる。
- 虐待の通報件数と実件数とも 2 年間で倍増した。

＜子どもの貧困対策の 3 本柱＞

- ① **教育・学び** 社会の一員として自立した生活を送るための基礎学力の定着
- ② **健康・生活** 社会的孤立に陥らないための環境整備
- ③ **推進体制の構築、調査・分析** 計画の進捗管理・評価、実態把握、意識啓発・人材育成

具体的な取り組みとして、平成 27 年度を子どもの貧困対策元年とし、スクールソーシャルワーカーをモデル校に配置しました。また、子どもの貧困対策を進めるうえで学校をプラットフォームにして保護者、地域と連携をとって貧困の連鎖を断つことをめざしています。（研修資料より引用）

（常東地区 齋藤祐子 記）



町会自治会「地域を訪ねて」 シリーズ 4 千住大川町南町会

千住大川町南町会は、千住の町の中では一番小さな町会ではなかろうか。世帯数 330、ほぼ住宅地である。一昔前国道四号には都電が走っており、千住四丁目がその終点になっていて、その関係で人口密度の高い方であった。しかしながら大店舗法により、北千住駅近くにデパートなどが出来、現在では駅を中心とした繁華街で、夜になると飲食店がにぎやかである。今では東京でも屈指の商店街になり、TV などでもかなり紹介されるようになってきている。

しかし千住のチベットと言われている大川町は千住の花火大会では中心地になっているが、それ以外は取り立てて言う程のものはない。荒川放水路のすぐ脇なので堤防が切れ、水害をまともに受けたらと思うとぞ

っとする所である。避難対策に特に力を注がなければならない。

（千住大川町南町会会長 藪下郁男 記）



東栗原小
一年
下村桜季
作

足立区は活動記録提出率 100％継続中です



運動機能専門デイサービス見学

西新井大師にほど近い『フィットネス デイ ハンド・イン・ハンド』を見学しました。従来のデイサービスのイメージとは全く異なりフィットネスクラブをイメージした明るい施設でした。

一日3時間の流れは、バイタルチェック→ストレッチ・リズム体操→休憩→マシーントレーニング→休憩→歩行訓練・筋トレ・脳トレ→クールダウン・ストレッチと充実した内容で、筋力や体力をつけるという目標をもって取り組んでいます。

老若男女の健常者・障がい者・高齢者の心身の健康維持と、出会いと交流の場所でした。介護保険で通えるフィットジムとして、運動不足解消から、脳梗塞後遺症、変形性膝・股関節症、パーキンソン病等難病の方をトレーナーがサポートするそうです（施設のパンフレット及びホームページより引用）。

見学させていただいた日も80代の方を中心に、お元気に楽しくストレッチや軽い筋トレを1, 2, 3と声

を出しながらなさっていました。また、男性の参加が多くとても良いことだと思いました。見学当日はハロウィンとあって、仮装したスタッフが登場した時は皆さん大笑いをしていました。介護予防に運動とおしゃべりで、すこやかな毎日になること間違いありません。

（常東地区 齋藤祐子 記）



▲トレーニング風景

広げよう 地域に根ざした 思いやり

中学生俳句コーナー

花畑中学校

野分にも 負けじと佇む 法隆寺

三年 中道 恵将

梅雨空や 見上げた先に 架かる橋

三年 福島 里耶

滝の音 清水舞台 空も冴え

三年 副島 卓哉

絶景だ 三門登り 風感じ

三年 小出 桂佑

花畑北中学校

雷鳴と 神のおたけび 紙一重

三年 鈴木 海心

高校の 合格願う 除夜の鐘

三年 加藤 杏優

空に虹 未来へつなぐ 橋となる

三年 野澤 菜穂子

桜舞う 道の真ん中 出会いの日

三年 藤田 楓華



ぶらり足立・舎人公園



都立舎人公園は、年間で150万人が訪れる水と緑に恵まれたくつろぎの場です。広大な敷地は63.15ヘクタールにも及び足立区内では最大級、都内でもトップ10に入るほどの敷地面積を誇ります。舎人公園は、日暮里・舎人ライナー「舎人公園駅」をはさみ大きく西と東に分けられ、それぞれまったく異なるエリアとなっています。西側エリアには、テニスコート、陸上競技場、野球場、プレイグラウンドなどのスポーツ施設が集中して配置されています。スポーツ技術の向上を目指す人には申し分のない施設が整っており、スポーツを通したコミュニティ・スペースとしてご活用いただけます。元気いっぱいからだを動かしてみたいかがですか。そして東側エリアは、広大でなだらかな起伏のある草地に大池が配置され、バードサンクチュアリなど自然があふれ、散策や野鳥観察などピクニックに最適な空間となっています。中でも幅44m、最大

傾斜20度のソリ専用人工芝ゲレンデでの草すべりの体験はいかがでしょう？ 陽光麗らかなこれからの春の一日、ご家族、ご友人とぜひお越しください。

また、舎人公園のもう一つの重要な役割として、今後発生が懸念される首都直下型大地震などの大規模災害発生時に、地域の避難場所としての機能に加えて、自衛隊などが被災者の救出や救助等を行うためのベースキャンプとなります。都内に11箇所ある「大規模



救出救助活動拠点」のひとつに指定され、救援ヘリコプターの離発着場所など重要な役割を果たすことになります。

(公益財団法人東京都公園協会

舎人公園サービスセンター長 菊地由子 記)

ご存知ですか？

Q & A

民生・児童委員が活動の中で依頼される調査書・意見書についてご存知でしょうか？

交通事故が原因で歩行困難となり、仕事も辞め無職となってしまった被害者の方から、裁判に提出するために、無収入で生活に困窮しているという内容の調査書の作成を依頼されました。

珍しいケースなので、民生係で調べていただいたところ、「法的証拠として取り扱われるもの」について

は取り扱ってはいけないこと、また民生・児童委員の書いた調査書が、加害者であれ誰かの不利益になってはならない、ということでした。そして配布されている調査書以外の書式で書くことも禁じられているそうです。いかがでしたか？ もしこのような依頼があった場合、お手元の「2013年度版 新任民生委員・児童委員の活動の手引き」p62～64を参考にいただければと思います。

(4地区 江川明美 記)

編集後記

広報紙「さくら」の40回目の発行となり、桜の季節にカラー印刷の紙面も嬉しいです。

家事をバタバタと片付け、区役所の会議室へと急ぐ。月に一回、9時30分からの広報委員会は、委員を引き受けたばかりの時は少し負担に感じていまし

た。今は編集会議から「さくら」が少しずつ出来上がっていく現場が楽しく、毎回多くのことを学んでいます。

(8地区 森葉子 記)

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、

第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 7月1日

原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談下さい。

広報委員会

委員長

秋本雅信

副委員長

数下奈穂美

書記

鶴田晴久

会計

金子みどり

編集

小島千恵子

レイアウト

木内信雄

校正

江川明美

編集委員

齋藤祐子

山崎秀夫

田中礼子

渡邊進子

櫻井春子

森原稔子

福井潤子

坂井まさ子

丸山恒雄

校正委員

鈴木千秋

秋本雅信

山本滝子

志賀口博人

久保幸子

福岡佳須子

戸張光子

西野いちよ

高橋和枝